

### 3. 授業の履修

---

#### (1) 単位制度と単位の認定

単位制度、履修申請制度、卒業単位及び学位授与、休学、退学等の学生異動については、本手引きの p. 8～p. 11 を確認してください。

#### (2) 授業科目の履修

授業の履修方法、授業期間・授業時間帯、授業科目の開講方法、授業の休講・補講、欠席の取り扱いについては、本手引きの p. 14～p. 17 を確認して下さい。

#### (3) 履修申請

各年度または学期に履修する科目については、専用のWebサービスを使用して申請してください。その際、「履修の手引き」「授業時間割表」「講義概要（シラバス）」を必ず参照してください。詳細はオリエンテーションで説明します。

#### (4) 指導教員

指導にあたっては、主指導教員が責任者となり、研究・プロジェクトの指導をはじめ、履修指導や学生生活のサポートを行います。また、主指導教員とは別に幅広い分野の知見の提供、研究補助、地域実践を行う上でのサポートを行うため、副指導教員やアドバイザーがつくことがあります。

#### (5) 定期試験と成績評価

定期試験、成績評価については本手引きの p. 22～p. 26 を確認してください。

### 4. 修了要件について

---

本学地域情報学研究科地域情報学専攻の修了要件は、2年以上在学し、以下の表から合計30単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文又はプロジェクト実践報告書の審査及び試験に合格することになります。

科目区分	必修	選択	合計
(1) 研究・プロジェクト科目	4単位	12単位	16単位
(2) 情報学科目	—	6単位	6単位
(3) 文理融合科目	—	4単位	4単位
(4) 社会科学系科目	—	—	—
上記科目区分(1)～(4)の中から自由に選択			4単位
修了要件 単位数			30単位

※情報学研究コースの学生は「地域情報学特別研究Ⅰ」「地域情報学特別研究Ⅱ」、地域情報プロジェクトコースの学生は「地域情報プロジェクト実践Ⅰ」「地域情報プロジェクト実践Ⅱ」をそれぞれ研究・プロジェクト科目より修得すること。

## 5. 開講科目について

地域情報学研究科

(地域情報学専攻)

科目 区分	授業科目	配当 年次	単位数		備 考
			必修	選択	
研究・ プロジェクト 科目	地域情報プロジェクト演習 I	1	2		必修
	地域情報プロジェクト演習 II	1	2		必修
	地域情報学特別研究 I *	2		6	
	地域情報学特別研究 II *	2		6	
	地域情報プロジェクト実践 I ※	2		6	
	地域情報プロジェクト実践 II ※	2		6	
	インターンシップ	1・2		2	
情報学 科目	離散数学特論	1・2		2	
	応用解析学特論	1・2		2	
	ハイブリッドダイナミカルシステム	1・2		2	
	集積システム設計特論	1・2		2	
	IoTシステムハードウェア	1・2		2	
	実証的ソフトウェア工学	1・2		2	
	人間情報技術特論	1・2		2	
	マルチモーダルインタラクション特論	1・2		2	
	計算知能特論	1・2		2	
	環境情報技術特論	1・2		2	
	医用画像解析特論	1・2		2	
時系列メディア論	1・2		2		
文理 融合 科目	地域情報学特別講義 I	1・2		2	
	地域情報学特別講義 II	1・2		2	
	感性情報データ処理特論	1・2		2	
	サービスエンジニアリング特論	1・2		2	
	ベンチャー・アントレプレナーシップ論	1・2		2	
	実践的社会調査法	1・2		2	
	地域医療情報システム論	1・2		2	
社会 科学 系 科目	地域福祉政策論	1・2		2	
	公共ガバナンス論	1・2		2	
	経営学特論	1・2		2	
	国際文化論	1・2		2	

情報学研究コースの学生は\*の2科目、地域情報プロジェクトコースの学生は※の2科目を研究・プロジェクト科目より修得すること。

## 6. 最終成果物の作成と審査について

### (1) 最終成果物の作成について

本専攻を修了するためには最終成果物として修士論文、プロジェクト実践報告のいずれかを提出しなければなりません。

### (2) 審査について

最終成果物の審査は概ね以下の方法によりおこないます。

成果物	審査方法
修士論文	修士論文審査を行う。修士学位論文に基づいて、主査・副査による論文審査を行う。
プロジェクト実践報告	プロジェクト実践報告書についても、修士学位論文と同様に修士学位審査を行う。原則として、対象とした社会課題のステークホルダーが参加できる公開の場でプロジェクトの成果報告を行うことを要件とする。

## 7. コース選択について

### (1) コース選択の時期について

1年次は、自らの研究・プロジェクトのテーマに関連する授業を幅広く受講します。2年次の4月には、研究活動を重視する「情報学研究コース」、プロジェクト実践を行う「地域情報プロジェクトコース」のいずれかに所属することになります。コースの決定は希望調査によりおこないます。

### (2) 履修科目、成果物及び修士号について

コースが決定したら、コースに応じた科目を履修することになります。以下の表の通りです。

コース名	情報学研究コース	地域情報プロジェクトコース
履修科目	地域情報学特別研究Ⅰ 地域情報学特別研究Ⅱ	地域情報プロジェクト実践Ⅰ 地域情報プロジェクト実践Ⅱ
成果物	修士論文	プロジェクト実践報告書
学位	修士（情報学）	修士（学術）

※ コースを選択した時点で、履修科目、成果物、目指す学位が決定します。2年次の4月に、情報学研究コースを選択した場合、地域情報学特別研究ⅠおよびⅡを、地域情報プロジェクトコースを選択した場合は、地域情報学プロジェクト実践ⅠおよびⅡを履修することになります。

## 8. 最終成果物提出までのスケジュール

年次	月	情報学研究コース 修士論文 (修士 (情報学))	地域情報プロジェクトコース プロジェクト報告書 (修士 (学術))
1年	4月 ～ 3月	<p>1年次では以下の③点について取り組む。</p> <p>① 仮テーマと研究内容を指導教員と相談し、決定する。</p> <p>② ①に基づき、履修科目を決定する。</p> <p>③ プロジェクトおよび研究活動のためのスキルの習得、文献購読法、調査法、データ解析法などを学ぶ。</p> <p>1年次が終了(2～3月ごろ)するまでに、所属コース、最終成果物(論文 or 報告書)を決めておく。</p>	
2年	4	研究テーマと所属コースの決定	
	5	研究活動	
	6		
	7		
	8		
	9	中間報告会	
	10	研究活動	
	11		
	12		下旬：報告書概要の提出
	1	中旬：修士論文のタイトル提出 下旬：修士論文提出	中旬：報告書タイトル、報告書提出 下旬：随時、報告会開催（地域の関係者に一般公開の場を設ける）
	2	中旬：修士論文発表会	中旬：主査、副査による報告書審査
	3		

※スケジュールは変更となることがあります。